

# 荒川区区政改革懇談会

## 第3回教育分科会議事要旨

### 【日時】

10月17日(月) 18:30~20:30

### 【場所】

荒川区4階特別会議室

### 【次第】

- |                                      |                          |
|--------------------------------------|--------------------------|
| ステップ1: 「これまでの主な意見」の確認                | ステップ4: 今日の議論の内容を確認しよう    |
| ステップ2: 「家庭の教育力の向上策」について考えよう(問題点について) | ステップ5: 第4回分科会の進め方を確認しよう! |
| ステップ3: 「家庭の教育力の向上策」について考えよう(対応策について) |                          |

### ステップ1 「これまでの主な意見」の確認

はじめに座長から今回の進め方、今後の進め方について話がなされた。  
次にコーディネーターから、第二回の会議録の確認と資料の確認がなされた。

### ステップ2 「家庭の教育力の向上策」について考えよう(問題点について)

- ・ 重要なのは現状の把握である。現状の把握がないと解決策も見つからない。
- ・ 「保護者は学校に人質を預けているようなもの」で言いたいことが本気でいえないと思っている人もいる。しかし、実際はそういうことは無いのだが、そのことを理解していない人が多いと思う。何かお互いに垣根をとりはらう方法があれば良いのではないか。
- ・ 非常に良くないのは表面上協力しているように見せかけてしまうこと。それをどう変えていくかが問題ではないか。
- ・ 近所に登校拒否の児童がいるが、学校が上手に対応しているようには思えない。学校はそれをどう思い、どんな対応すべきなのか。
- ・ 民間企業で重要なのは情報公開だが、果たして学校がそういうことをできるのかどうか。それが無い限り、誰もわかっているようなふりをするしかできない。
- ・ 学校のことはわからないところはわからない状態であるが、昨今テレビでも見られるようにPTAと学校が対立すると、いざ何かあったときにどうするのか、という問題がある。
- ・ 家庭が教育云々というよりも、大人と家庭の関係を認識させることが重要だと思う。それをどう教えるかが問題である。また、家庭では、社会に出るためのしつけ、つまりやっていい事と悪いことの区別をつけさせることが重要だと思う。
- ・ 私は小学生と中学生の子どもがいるが、毎日でも、言わなければいけないことは日々繰り返して言っている。根気強く言い続けることが重要ではないか。
- ・ 家庭で教えることは、子どもに何をしてはいけないか、どんなことをしたら(しなければ)恥をかかないかを教えることが重要ではないか。人としてのけじめが重要である。
- ・ 前回家庭教育通信を頂いたが、そこに指針が書かれている。そういったものを家庭教育というテーマでも肉付けする必要があるのではないか。そして、それは親だけではなく、地域社会に公開されていくべきである。
- ・ 子どもの教育で知育体育徳育ということが言われるが、学校は勉強を教えるところで、学

校にしつけまでを教えると言うべきではないと考えている。

- ・ しつけや社会のルールを教えることは学校と家庭が連携をとりながらやっていくものであり、どちらか一方が行うといったものではない。

### ステップ3 「家庭の教育力の向上策」について考えよう！（対応策について）

コーディネーターが今までの意見を整理し、その整理に基づいて対応策を検討することとなった。

- ・ 学校と家庭の連携が大切だと思う。よく聞くのは、お互いに忙しくて余裕が無いということであるが、本来は子どもの教育に対して親として、教員としての優先順位を考える必要がある。また家庭と教育が連携するためにも、優先順位が非常に重要である。
- ・ 学校と家庭がお互いの警戒心を解き、ホンネで話し合える場が必要である。
- ・ 団体として行うことは学校で、個人としては家庭で教えるべきである。できれば学校行事を日曜日に行ったり、保護者会を夜に開く等をしていくことが必要ではないか。
- ・ 小さい時から最低限のマナーに関することを何回も言い続け、習慣化させることが重要である。それを行うためには学校の時間が十分でなく、それが原因の一つになっていると思う。
- ・ 義務教育の段階で、やってはいけないこととして教えることがは諸々あると思う。そういったことを考えると、シンガポールのような厳罰も場合によっては必要かもしれない。
- ・ 今の子どもが親になれば自分の子どもを育てることになるので、それを見越して親を今から育てるという視点が重要ではないか。
- ・ PTA 役員をした経験などもふまえると、学校と家庭に壁がある。その壁を取り払う方法を考える必要がある。
- ・ 学校と家庭の連携が必要で、それをどのようにつくるかについて、「家庭教育通信」に最低限のことを書いて配布すべきである。
- ・ 学校で今何が問題になっているかを情報公開すべき。そしてそれをもっと地域の人間にも公表するなどをして、社会みんなでやっていけたら良い。
- ・ 学校の通信はよく出しているが、実際は、親は読まないという問題もあり、特に通信等を読まない親に問題がある場合が多い。
- ・ 今の子どもは注意をすればちゃんと聞く、つまり、マニュアルがあればちゃんとできる、それから外れた場合の対応ができない。ルールもそうだが、そのルールの奥底にあるものを教えなければいけないと思う。

### ステップ4 今日の議論を確認しよう

コーディネーターより本日の議論のまとめがなされた。

### ステップ5 第4回分科会の進め方について考えよう

第4回の分科会について、「学校の教育力の向上」のテーマで話すことになった。

以上